

(別紙③)

地震が起きた際の対応

1 開会式の最中に起きた場合

- (1) 会場職員もしくは式典係の指示に従って避難する。
- (2) 各選手団に今後の実施等についての連絡を行う。
※各宿泊先にFAXを送る、電話が不通の場合は手分けして直接連絡する。
- (3) 各選手団監督は選手団の安全を確認して本部に報告する。
※館内の非常口や避難経路を確認しておくこと。

2 競技中に起きた場合

- ①緊急地震速報が入る。
↓
- ②スキー場の放送で避難指示。
↓
- ③本部よりTD（技術代表）・競技委員長に無線連絡。
↓
- ④TD（技術代表）はレースの中断を放送で指示（レース等、生徒たちの動きを止める）。
↓
- ⑤選手、役員、応援者に避難指示。
↓
- ⑥各選手団が避難した場合、選手団の安全を確認後本部に報告する。
↓
- ⑦本部は今後の対応（翌日以降の競技実施等）について各選手団に連絡を行う。
(各宿泊先にFAXを送る、電話が不通の場合は手分けして直接連絡する。)

3 競技中避難場所

- (1) 一次避難場所
 - ①アルペン競技会場
 - ・緊急時集合場所…競技会場内フィニッシュエリア
 - ②クロスカントリー競技会場
 - ・緊急時集合場所…競技会場内スタートフィニッシュエリア
 - ③ジャンプ競技会場
 - ・ジャンプ競技会場緊急時集合場所…競技場アウトラン内
- (2) 二次避難場所 鹿角トレーニングセンターアルパスアリーナ（収容人数2,000名）
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字百合沢81-53 Tel 0186-23-8000
- (3) 緊急連絡先 アルパスアリーナ内 スキー大会事務局 Tel 庶務連絡で通知する。

4 宿泊先で地震が起きた場合

- ①緊急地震速報が入る、地震が起きる。
↓
- ②宿泊先の指示に従う。
↓
- ③大会本部は今後の実施の判断を行う。
↓
- ④各選手団に今後の実施等についての連絡を行う。
(各宿泊先にFAXを送る、電話が不通の場合は手分けして直接連絡する。)
- ↓
- ⑤各選手団監督は選手の安全を確認して本部に報告する。

5 避難所・避難場所一覧【『鹿角市ホームページ』→『鹿角市防災マップ』にて確認のこと】

6 大規模震災で選手団が一次避難後、各都道府県に戻った際の報告

- ・選手団の無事、安全確保確認後大会本部に報告する。